

サクセス通信

Vol.3   
2023年新春号

**新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いたします。**

さて、昨年2022年は長かったコロナによる入国制限もようやく解除され、サクセス協同組合でも4月以降順調に新たな技能実習生の入国が行われました。

入国制限が解除された3月から12月までに114名の新規実習生を迎え、各組合員企業に無事に配属を行いました。

2023年も、コロナの新たな感染拡大が心配されておりますが、これまでのような制限はされないようです。また、円安の影響で外国人労働者にとって日本の魅力が低下しているとの報道もありますが、これまでのところ募集に関しては大きな影響もなく、面接等も順調に行われております。

今年は円安の影響による企業の国内回帰が進むとの報道もあり、ますます求人が厳しくなるのではと心配される企業もある中で、外国人労働者の必要性はますます高まってくるのではないのでしょうか。

今年、サクセス協同組合は設立18周年を迎えます。組合員企業のより一層の支援に向けて、春には新たに2名の職員も加え、飛躍の年になるよう職員一同、組合員皆様のご要望に応じて参りたいと思っております。昨年にも増して、組合員企業及び地域からも信頼される監理団体として、きめ細かい対応をさせていただきますので、今年もご指導いただきますようお願い申し上げます。



事業部一同：左から中村(インドネシア・フィリピン担当)、タン(ベトナム担当)、石松理事長、アンドリュウ(インドネシア・フィリピン担当)、曲(事業部業務部長・中国担当)、トゥイ(事業部主任・ベトナム担当)

合同説明会への参加

10月18日、北九州市が主催した「合同説明会」に参加いたしました。この合同説明会は、外国人の雇用を考えている市内企業と技能実習生の受け入れを行っている監理団体4団体と登録支援機関8機関を含む23団体が企業から個別の相談に応じました。

サクセスの相談ブースには約10企業から相談がありました。いずれの企業も人手不足で雇用の確保が難しいという理由で、外国人の雇用を今後検討していきたいという相談でした。

相談に来られた企業は、製造業分野の他、建設業や介護職分野が多く、いずれの企業もこれまでに外国人を雇用した経験がなく、言葉や習慣等の問題に不安があり、外国人の雇用に躊躇しているとのことでした。

サクセスでは、外国人労働者の相談などに母国語で対応可能な管理指導員が丁寧に指導していることや、組合員企業への訪問指導なども十分な体制で行っていることを説明し、今後の受入相談も引き続き行う事としています。

市によると、このような管理組合等と受け入れを検討している企業との相談会は全国でも初めてではないか、とのことでした。次年度以降も引き続き実施を検討しているとのこと、サクセスでは次回以降も積極的に参加してまいりたいと考えています。

▼(写真)合同説明会の様子



サクセスのブースはテーマカラーの赤・シルバーを基調に



ブースでお出迎え



石松理事長が素形材・産業機械・電気電子情報関連製造業のセミナーを担当



相談中の様子

特定技能制度の見直し (製造業分野について)

今年8月に、特定技能制度における製造業分野の見直し・拡充が閣議決定されました。見直しの内容は、「受入れ見込み数の見直し」と「業務区分の統合」です。

■「受入れ見込み数見直し」について

<受入れ見込み（上限）の見直し>

技能実習制度の運用開始から3年4ヶ月が経過したところ、コロナ禍という特異な状況が経済情勢の変化を生じさせ、全12分野において受入れ見込み数と実態の乖離が進んでいることを受け、全体の見込み数を変更しない範囲で、受入見込み数（令和6年3月までの上限）の再精査が行われました。

<製造業分野の見込み数拡大>

全12分野では、製造業分野及び飲食料品製造分野において、見込み数の拡大がなされました。

製造業分野では令和4年4月時点で15,034人が特定技能で在留しており、当初の受入れ見込み数の47.8%の充足率であり、他分野の充足率を大きく上回っていることから、当初の31,450人の受入れ見込み数から49,750人へと受入れの拡大がなされました。

なお、飲食料品製造業では、充足率が73.9%となり、34,000の受入見込み数が87,200人と拡大されました。

各分野の在留者数充足率見込み数は下表のとおりです。

分野	在留者数 (R4.4時点)	充足率	現行の受入れ見込み数	見直し後の受入れ見込み数
介護	8,484	14.1%	60,000	50,900
ビルクリーニング	946	2.6%	37,000	20,000
製造	15,034	47.8%	31,450	49,750
建設	7,149	17.9%	40,000	34,000
造船・船用	2,258	17.4%	13,000	11,000
自動車整備	1,050	15.0%	7,000	6,500
航空	70	3.2%	2,200	1,300
宿泊	140	0.6%	22,000	11,200
農業	9,692	26.6%	36,500	36,500
漁業	891	9.9%	9,000	6,300
飲食料品製造	25,138	73.9%	34,000	87,200
外食	2,660	5.0%	53,000	30,500
全体	73,512	21.3%	345,150	345,150

■「業務区分の統合」について

<19区分から3区分に>

これまで製造業分野の業務区分は19区分に分かれており、業務範囲が限定的であり、技能の習得においても制約がありました。

現場の多能工化のニーズを受け、現場の実態に沿った制度となるよう、技能の関連性と業務の連続性を考慮し、3区分に統合する変更が行われました。

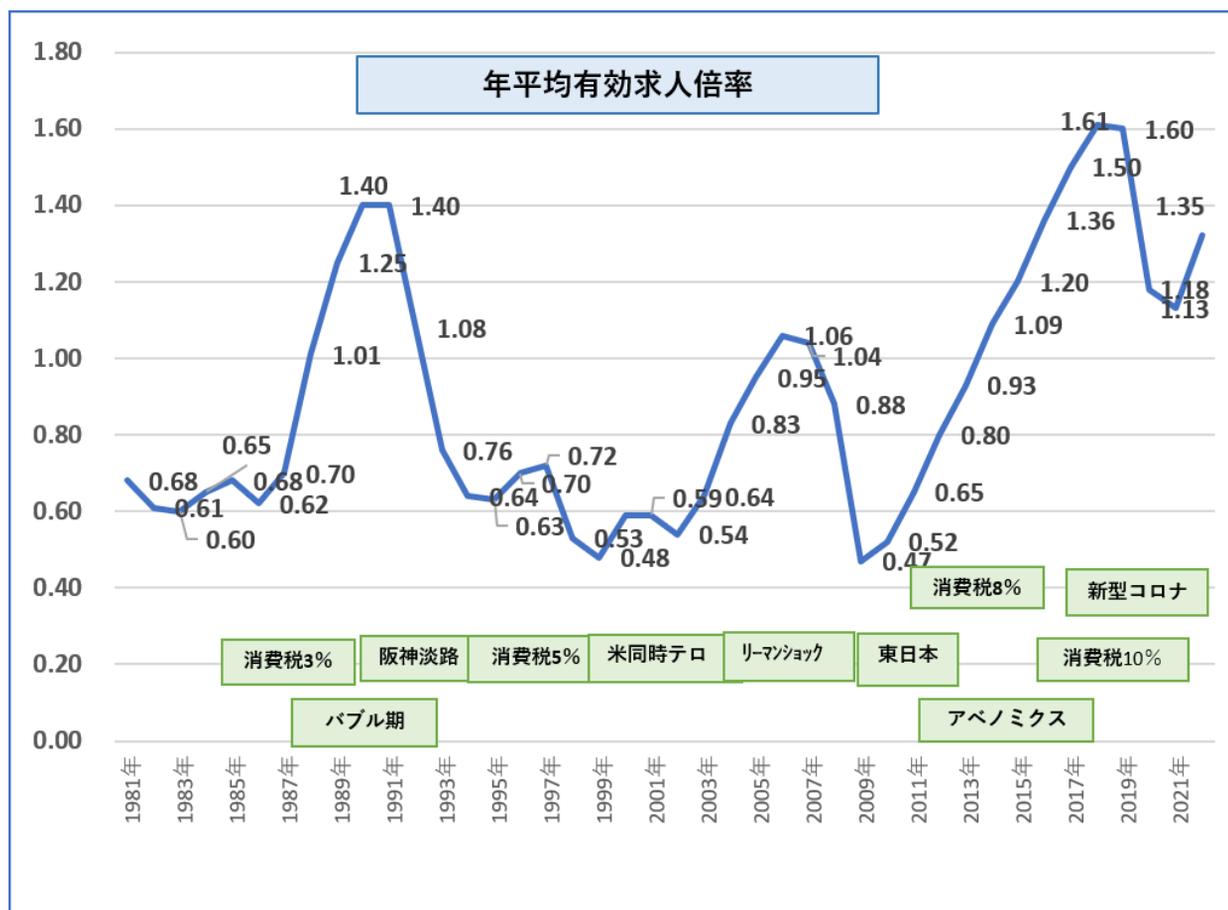
<職種間の移動が容易に>

今回の業務区分の統合により、固定されていた業務が他業務への移行が容易になったため、受入企業も現場の実態に合わせ、配置等の移動が行われるようになりました。

実習生にとっても、関連業務など更なる技能の習得が可能になる一方で、他企業への転籍も容易になり、より良い処遇を求め転籍の可能性も高くなると思われます。

旧19業務区分	新区分（旧区分の対応）	
鋳造	①機械金属加工	
鍛造	鋳造	プラスチック成型
ダイカスト	ダイカスト	溶接
機械加工	金属プレス加工	塗装
金属プレス加工	工場板金	電気機器組立て
鉄工	鍛造	機械検査
工場板金	鉄工	機械保全
めっき	機械加工	工業包装
アルミニウム陽極酸化処理	仕上げ	
仕上げ		
機械検査	②電気電子機械組立て	
機械保全	機械加工	プリント配線板製造
電子機器組立て	仕上げ	機械検査
電気機器組立て	プラスチック成型	機械保全
プリント配線板製造	電気機器組立て	工業包装
プラスチック成型	電子機器組立て	
塗装		
溶接	③金属表面処理	
工業包装	めっき	アルミニウム陽極酸化処理

経営に役立つ参考資料



上の表は全国平均の有効求人倍率の推移です。最新の値は11月末時点の数字です。
アベノミクスで大きく上昇した有効求人倍率でしたが、コロナ過で落ち込み1.13倍となっておりましたが、コロナの収束とともに、1.35倍まで回復していることが分かります。

バブル期以降、ほぼ1.0倍を下回っていた有効求人倍率でしたが、コロナ禍においても1.0倍を下回ることなく、コロナの収束とともに、以前のバブル期並みの1.35倍まで回復しております。

今後の日本の人口減少を考えると、大きく経済が落ち込んだとしても、1.0倍を下回ることなく、1.4倍～1.5倍程度の倍率が続くのではないかと考えられます。

国としても、高齢者雇用の促進や、女性活躍推進法などによって限られた雇用の増大を図っていますが、今後とも人手不足は続き、外国人労働者に頼らざるを得ないのではないかと考えています。



成長著しいアジアの活力と日本が長年培ってきた技術・技能とを融合させ、貴社の成長・発展に繋がる外国人材の採用を支援いたします。
新たな成長・発展の基盤は人材です。活力に満ちたアジアの人材を活用しませんか？

サクセス協同組合

TEL: 093-581-0047 URL: <https://k-success.org/>